【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成24年6月21日(2012.6.21)

【公表番号】特表2011-519036(P2011-519036A)
【公表日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2011-506491(P2011-506491)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ　30/88　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　15/08　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/20　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/281　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　20/30　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　30/60　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　30/72　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ　30/88　２０１Ｙ
Ｂ０１Ｄ　15/08
Ｂ０１Ｊ　20/20　Ｂ
Ｂ０１Ｊ　20/22　Ｄ
Ｂ０１Ｊ　20/26　Ｌ
Ｂ０１Ｊ　20/30
Ｇ０１Ｎ　30/60　Ｐ
Ｇ０１Ｎ　30/60　Ｂ
Ｇ０１Ｎ　30/88　１０１Ｌ
Ｇ０１Ｎ　30/72　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成24年4月26日(2012.4.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
分離カートリッジであって、
第１の末端；
第２の末端；および
該第１の末端と該第２の末端との間に位置した１種以上の吸収剤であって、該１種以上の吸収剤は、疎水性を増大させる順序で、該第１の末端から該第２の末端へと配置される、１種以上の吸収剤
を含む、分離カートリッジ。
【請求項２】
前記第１の末端に隣り合って位置した第１のフリット；および
前記第２の末端に隣り合って位置した第２のフリット、
をさらに含み、該第１および第２のフリットは、前記１種以上の吸収剤を保持するように適合されている、請求項１に記載の分離カートリッジ。
【請求項３】

前記１種以上の吸収剤は、複数の領域中に配置され、各領域は、異なる疎水性を有する、請求項１または２に記載の分離カートリッジ。
【請求項４】
前記分離カートリッジは、前記複数の領域を分離するための１つ以上のフリットをさらに含む、請求項３に記載の分離カートリッジ。
【請求項５】
シリンダーをさらに含み、該シリンダーは、前記１種以上の吸収剤を封じ込めている、請求項１から４のいずれかに記載の分離カートリッジ。
【請求項６】
前記シリンダーは、金属シリンダーである、請求項５に記載の分離カートリッジ。
【請求項７】
前記１種以上の吸収剤は、シアノ樹脂、Ｃ１樹脂、Ｃ２樹脂、Ｃ３樹脂、Ｃ４樹脂、Ｃ８樹脂、Ｃ１８樹脂、フェニル樹脂、ビフェニル樹脂、グラファイトカーボン、シアノプロピル、およびトリメチルシランからなる群より選択される、請求項１から６のいずれかに記載の分離カートリッジ。
【請求項８】
前記１種以上の吸収剤は、
前記第１の末端に隣り合う、第１の吸収剤領域；
該第１の吸収剤領域に隣り合う、第２の吸収剤領域；
該第２の吸収剤領域に隣り合う、第３の吸収剤領域；
該第３の吸収剤領域に隣り合う、第４の吸収剤領域；
該第４の吸収剤領域および出口に隣り合う、第５の吸収剤領域
を含む、請求項１から７のいずれかに記載の分離カートリッジ。
【請求項９】
前記第１の吸収剤領域は、シアノ樹脂を含み；
前記第２の吸収剤領域は、Ｃ４樹脂を含み；
前記第３の吸収剤領域は、Ｃ８樹脂を含み；
前記第４の吸収剤領域は、Ｃ１８樹脂を含み；そして
前記第５の吸収剤領域は、フェニル樹脂を含む、
請求項８に記載の分離カートリッジ。
【請求項１０】
前記１種以上の吸収剤は、実質的に連続した疎水性の勾配を有する単一の吸収剤を含む、請求項１から９のいずれかに記載の分離カートリッジ。
【請求項１１】
濾過方法であって、該方法は、
請求項１から１０のいずれかに記載の分離カートリッジを提供する工程；
該カートリッジを通じて、前記第１の末端から前記第２の末端へと、サンプルを流す工程であって、ここで溶液中の１種以上の分析物は、前記１種以上の吸収剤に吸着される工程；および
前記第２の末端から前記第１の末端へ溶媒を流し、それによって、該１種以上の分析物を、前記１種以上の吸収剤から溶出する工程
を包含する、方法。
【請求項１２】
種々の疎水性を有する分離カートリッジを作り出すための方法であって、該方法は、
濾過物質および架橋剤を、シリンダーに装填する工程；および
該物質をエネルギー源に選択的に曝して、該濾過物質内の架橋反応を選択的に開始する工程
を包含する、方法。
【請求項１３】
前記シリンダーは、ガラスチューブまたは溶融シリカチューブである、請求項１２に記

載の方法。
【請求項１４】
前記エネルギー源は、光源または放射線源である、請求項１２または１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記濾過物質は
ポリマー；および
架橋剤
を含む、請求項１２から１４のいずれかに記載の方法。